

各位

平成 26 年 5 月 23 日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 青森
～ 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会および公益社団法人青森県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 青森～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 青森」開催概要

日時： 平成 26 年 6 月 21 日（土） 14：00～17：00

場所： 青森国際ホテル
青森県青森市新町 1-6-18

参加費： 無料（先着 300 名）

プログラム概要：

- 基調講演 : 「岡山県ベビー救済協会 20 年の歩み」
座長：今村 定臣（日本医師会常任理事）
講師：中村 淳一（岡山県ベビー救済協会理事長）
- シンポジウム : 1 「ハイリスク妊産褥婦に対する対策と現状～青森県での取り組み～」
佐藤 秀平（青森県立中央病院総合周産期母子医療センターセンター長）
- 2 「子ども虐待防止と里親制度」
相澤 仁（国立武蔵野学院院長／日本子ども虐待防止学会理事）
- 3 「外来診療を通じた子育て支援」
會田 久美子（青森県立中央病院小児科 副部長）
- 4 「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 青森 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/information/index.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、平成 23 年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉向上を目的に平成 17 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動として設立され、平成 22 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

少子化や核家族化により子育て世代の環境は厳しくなっており、児童虐待の現状も依然として増加傾向が続き大きな社会問題となっています。特に死亡児の年齢が低年齢児、なかでもゼロ歳児に集中していることから、子育ては妊娠したそのときから既にスタートしているとも言え、妊娠初期からその発生を予防する具体的な対応が必要であり、これは社会全体で取り組むべき問題です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

参加費無料

先着300名

日時

平成26年
6月21日(土)
14:00~17:00

場所

青森国際ホテル

※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。

■主催(共催)

公益社団法人 日本医師会
公益財団法人 SBI子ども希望財団
公益社団法人 青森県医師会

■後援(予定)※法人格は省略

厚生労働省、日本産婦人科医会、
日本小児科医会、青森県、青森県教育委員会、
青森市、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、
青森県看護協会、青森県臨床産婦人科医会、
青森県小児科医会、青森県保育連合会、
全国児童養護施設協議会、
全国母子生活支援施設協議会、
全国乳児福祉協議会

イラスト 金城 暁子

(2013年度オレンジリボン運動公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品)



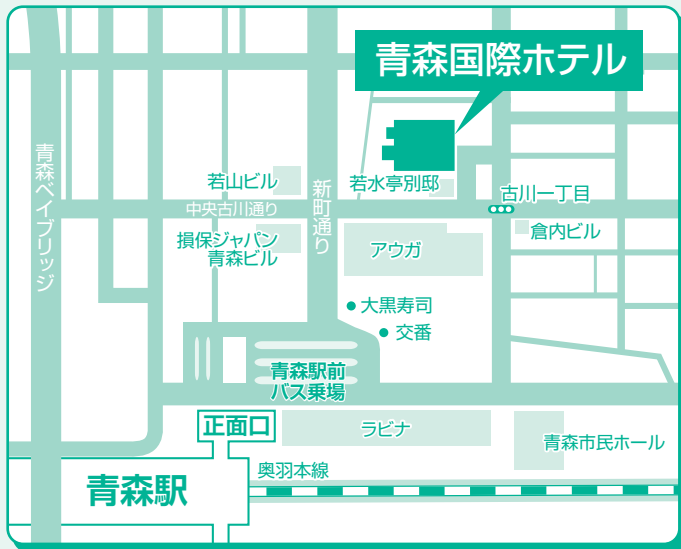
ママの笑顔は、
ボクの笑顔。

子育て支援フォーラム in 青森 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成26年6月21日(土)
14:00～17:00

場所：青森国際ホテル 3階 萬葉の間
〒030-0801 青森市新町1-6-18
TEL:017-722-4321 FAX:017-735-2662

◆青森駅正面口より徒歩5分



プログラム

司会:村上 壽治 (青森県医師会副会長)

1. 開 会14:00
2. 挨拶14:00～14:10
横倉 義武(日本医師会会長)、齊藤 勝(青森県医師会会長)
3. 基調講演14:10～14:50
座長:今村 定臣(日本医師会常任理事)
講師:中村 淳一(岡山県ベビー救済協会理事長)
「岡山県ベビー救済協会20年の歩み」
4. シンポジウム14:50～16:55
座長:苫米地 怜(青森県医師会常任理事)、工藤 協志(青森県小児科医会会長)
(1)佐藤 秀平(青森県立中央病院総合周産期母子医療センター センター長)
「ハイリスク妊産褥婦に対する対策と現状～青森県での取り組み～」
(2)相澤 仁(国立武蔵野学院院長/日本子ども虐待防止学会理事)
「子ども虐待防止と里親制度」
(3)會田 久美子(青森県立中央病院小児科 副部長)
「外来診療を通じた子育て支援」
(4)加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
「今日の子ども家庭と社会的養護の現状・課題」
- 討議
5. 閉 会16:55～17:00
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる
申し込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名
4.電話・FAX番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成26年6月13日(金)必着

- ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。(6月上旬頃)
- ※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX **03-3946-2684**

E-mail gyakutai@po.med.or.jp

H P <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ / 03-3942-8181 (日本医師会地域医療第3課)

参加申込書

子育て支援フォーラム in 青森
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成26年6月21日(土)開催]

住所	〒 -			託児施設のご利用	
				有 ・ 無	
氏名		電話番号	- -	託児人数	人
		FAX	- -	託児年齢	才
住所	〒 -			託児施設のご利用	
				有 ・ 無	
氏名		電話番号	- -	託児人数	人
		FAX	- -	託児年齢	才

※ボールペンでご記入ください。 ※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。

※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 **03-3946-2684** ↓